



# 牡幼だより

第2号

【ホームページ】<http://www.botanyama-k.city-niigata.ed.jp>



～サクランボの花～

## 「こっちは明るい黄色」

1学期がスタートして4週目に入りました。

新しい先生たちとも仲良しになり、新しいお友達を迎え、8人の子どもたちはますます張り切って暮らしています。

幼稚園に、4月29日から始まる『寺山こい来いフェスタ』に展示するこいのぼりの製作依頼がきていました。先生たちは、子どもたちに目的をもたせながらも、遊びながら鯉のぼりに関心が向くように環境に願いを込めていきます。

ある日の午後、先生の周りで子どもたちが「もっと作りたい!」「今度は一人でやるから見てて。」と楽しそうな声が聞こえてきました。魚の形を折り紙で折っていました。少し離れたテーブルに同じ色でも少しずつ違う色の折り紙が用意されていて、子どもたちが折り方を教えるから私にも作るように勧めてくれました。私が「どの色にしようか?」と悩んでいると、折り紙を取りにきた年長児が、「こっちは明るい黄色。」と何色かある黄色系の折り紙を並べて説明してくれました。黄色という言葉(名詞)に「明るい(形容詞)」をそえて、どんな黄色なのか教えてくれました。この感覚がすばらしく「ハッ!」とさせられました。



### 幼稚園教育要領【言葉の獲得に関する「言葉」の領域】で育てたい力

**経験したことや考えたことなどを自分なりに言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力**

言葉は、身近な人との関わりを通して次第に獲得されていきます。そのために幼稚園では子どもたちに「言葉のシャワー」をたくさん浴びせてあげたいと願っています。子どもたちを育てていく上で、保護者の皆様にも「共通の願い」としてお願いしています。

4月、大きく環境が変わった中にいる子どもたちも、新しい先生たちとの間に安心して言葉をかかわせる雰囲気や関係が成立してきていることを感じます。

子どもは、自分の思いを大人に受け止めてもらうことで、相手に分かってもらいたいという気持ちが芽生えてきます。そのためには、相手に伝えるための言葉が必要です。生活の



中にある物の名前言葉、明るいとか暗いとか感覚的なことを表す言葉、人と関わるための言葉、言葉の響きや楽しさを表す言葉等々、子ども時代だからこそ生まれる言葉の表しを大切に、ひと、もの、こと等に関わりながら、子どもが言葉の感覚を豊かにする生活を送っていきたいと思います。

## 初めての出会い(4/7)

新学期が始まり、年長たけ組の伊藤先生と年中きく組の木村先生と初対面しました。新しい先生たちに、靴をかける場所や手紙を出す場所を得意げに教える子どもたちでした。

進級式では、それぞれの担任から名札をつけてもらいました。うれしい反面ちょっぴり緊張気味の様子でしたが、みんなから拍手をもらいニコニコ笑顔でした。



お手紙は  
ここね。

これからよろしく  
お願いします！



## げんき土づくりに取り組みます！

今年度も「野菜くず」と「ぼかし (EM 菌)」を使って、げんき土づくり・げんき野菜づくりを始めました。げんき土は、牡丹山小学校の調理室から野菜くずをいただきました。「今日の給食には、何が入っているんだろうね。」とおしゃべりが弾みます。野菜くずに混ぜる「ぼかし」の匂いもかいでみました。「お味噌みたい。」という感想も！！

4月の最初は、ジャガイモ植えです。四分の一に切ったジャガイモの匂いをかいだり、小さい芽を触ってみたいり、確かめてから植えつけました。



ジャガイモの中身は、何色かな？



種芋の芽を上にして、そっと土の中へ。



10日後、小さな芽が出てきました。



菌ちゃんが食べやすいように、野菜くずを小さく小さくちぎります。



畑の土に、ちぎった野菜くずとぼかしを混ぜます。



3日後、菌ちゃんが野菜くずを食べていました。でも、少々キャベツが苦手みたいです。

## ぴよぴよ文庫、貸し出し開始(4/22)

毎週金曜日に、絵本の貸し出しをします。借りたい絵本を決めたら、カードに自分お名前のハンコを押し、所定の場所にさせていただきます。

この一年、大好きな絵本をたくさん見付けてくださいね。

